

計画の名称

山梨県全域における流域一体となった総合的な浸水対策の推進

計画の期間

平成 22 年度 ～ 平成 26 年度（5 年間）

計画の目標

流域が一体となって総合的な浸水災害対策を実施することにより、県民の安心安全の確保を図る。
老朽化した荒川ダムの施設更新を実施することにより、各設備で発生している機器異常や故障を解消し適正な洪水調節や水の安定供給を図る。

主な事業

- ・ 鎌田川広域河川改修事業（護岸、築堤、樋門、橋梁）
- ・ 濁川（上流）流域治水対策河川事業（設計、用地補償）
- ・ 藤川流域治水対策河川事業（護岸、合流部取付工）
- ・ 平等川（上流）流域治水対策河川事業（護岸、橋梁、取水堰）
- ・ 平等川（下流）流域治水対策河川事業（護岸、取水堰）
- ・ 流域貯留浸透施設整備事業（貯留施設設置）
- ・ 荒川ダム堰堤改良事業（ダム施設更新）

この計画に関する問い合わせ先 [山梨県 県土整備部 治水課](#)

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 山梨県全域における流域一体となった総合的な浸水対策の推進

都道府県・市町村名: 山梨県・甲府市

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 目標が河川基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1) 地域の浸水状況や土地利用の状況等を踏まえた目標となっている。	○
2) 地域の住環境等の状況を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
④事業効果の見込みの妥当性	
1) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
1) 計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
2) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1) 事業実施に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○